

心理学部心理学科 入学者受入れの方針

心理学部では、「中京大学の建学の精神」、「中京大学の理念」及び学部が定める「教育研究上の目的（理念・目的）」を尊重し、以下に示す知識や技能、知的好奇心を有し、それらを土台に学びを昇華させる意欲のある人を広く求めています。

<入学者に求める知識・技能・意欲・態度>

[知識・技能]

心理学部での学びは、「人の心の働きを科学的に探究し、それを実際の社会問題の解決に役立てること」です。多様な価値観を持つ人間を理解するとともに、社会が抱える問題を考えるためには、高等学校段階において、その基本となる教科・知識を幅広く学習しておくことが大切です。

特に、心理学部での学びと関連して、次のような学習をすすめておくことが望まれます。

- ・ 心理学は科学（science）です。実験等で得られたデータの数的・統計的処理を行うことから、ある程度の数学的な能力が必要となります。
- ・ 先端の研究内容を学んだり、参考にしたりするためには、外国語で書かれた学術論文を読み解く必要があります。そのためには、継続的に英語の学習をすすめておくことが求められます。
- ・ 心理学には、人と関わりを持ち、対話を通じて他者をより良い方向へと導くカウンセリング等の分野があり、高度なコミュニケーション能力が求められます。そのためには、読書を通じて幅広い教養を身につけるとともに、国語力や国語表現等の学習を確実にすすめておくといよいでしょう。

[意欲・態度]

心理学部で学ぶにあたっては、データの処理・分析を通して、科学的結論を得る力だけでなく、相手を受け入れつつ導くことができる心の広さ、懐の深さも求められます。これらは、心理学特有の面接技法や心理テストの実施能力を身につけることで、ある程度は入学後に伸ばすことができる素養でもあります。しかしながら、それにもまして必要とさ

れるのは、人間の行動や人間そのものへの興味や旺盛な知的好奇心、学習を粘り強く続ける力です。

上記のことを踏まえて、大学での充実した学びを達成するために、以下のような入学希望者を求めます。

- ・ 人間の行動に興味があり、そのメカニズムを知りたいという知的好奇心があること。
- ・ 柔軟な思考力や想像力を持ち、主体的に学習する意欲を持っていること。
- ・ 実験や観察といった研究方法を通した、科学的な分析に興味を持てること。

上記を踏まえ、別表のとおりに入学者選抜を実施します。具体的には、各種入学試験要項において、出願資格および入学試験科目を指定することにより、入学までに学んでほしい事項や資格等を示しています。

		前期・後期日程	推薦入試			グローバル 特別	特別入試
		A・M・F センタープラス センター利用	公募制推薦 (基礎学力 型)	指定校推薦 (特Ⅱ推 薦)	附属校 併設校 推薦		帰国生徒 留学生 社会人
知識 技能	高等学校で履修した教科科目について、基礎的な学力を有しているか。 高等学校在籍時に検定試験を受け、資格等を取得しているか。 部活動等で優秀な成績を修めたか。 正確な日本語で「読む・書く・話す」ことができ、他者の考えを正確に理解し、自分の考えを伝えることができるか。	◎ 筆記試験 もしくは センター試験 で確認	◎ 筆記試験 で確認	○ 筆記試験 で確認	○ 筆記試験 で確認	◎ 筆記試験 面接で 確認	○ 筆記試験 (小論文) で確認
思考力 判断力 表現力	自らの課題を発見し、その解決に向けて探究する力があるか。成果等を表現するために、自分の考えをまとめ、相手に伝えることができる力があるか。	△ 筆記試験 もしくは センター試験 で確認	△ 筆記試験 で確認	◎ 志望理由 書 調査書 当日の面 接 で確認	◎ 志望理由 書 調査書 当日の面 接 で確認	○ 志望理 由書 当日の 面接で 確認	◎ 筆記試験 (小論文) 面接 で確認
主体性 多様性 協働性	主体性をもって、正課内外を問わず様々な活動に参加したか。 ルールをまもり、多様な人々とチームワーク(協働)をつくることができたか。 ベストを尽くすことができたか。 相手に敬意をもって物事に取り組むことができたか。 地域や国内外の社会とつながり、働きかけができるか。	△ 調査書 で確認	△ 調査書 で確認	△ 調査書 推薦基準 で確認	△ 調査書 推薦基準 で確認	△ 当日の 面接で 確認	△ 当日の 面接で 確認